



研究テーマ：食物に含まれる(1,3)(1,6)- $\beta$ グルカンの生体内における有効性とその利用方法に関する研究

研究者： 日下 雅友

KUSAKA Masatomo

(保健医療学部 准教授)

#### 【研究・開発の目的】

本研究は、(1,3)(1,6)- $\beta$ グルカンが健康に及ぼす潜在的な効果を明らかにすることを旨とし、それに基づいた革新的な利用方法を開拓することを目標としています。

#### 【研究・開発のきっかけ】

黒酵母由来の(1,3)(1,6)- $\beta$ グルカンを含む食品の摂取による生体への影響について、視力回復効果や腸管免疫への影響についての研究を行ってきました。その中で、摂取による効果について、視力回復及び腸管免疫に効果があるのではないかとという客観的な結果をこれまで出してきました。しかし、個人差が非常に大きく、摂取に対して効果が出る場合とでない場合があるのが大きな問題であります。したがって、(1,3)(1,6)- $\beta$ グルカンを有効に利用するためには、作用機序などの基礎的研究から個人差のない摂取方法の検討や効果の検証が必要と考えられます。

#### 【研究・開発の概要】

近年、(1,3)(1,6)- $\beta$ グルカンの摂取により、免疫システムの活性化や炎症の抑制、腸内環境の改善など、多岐にわたる健康効果が報告されています。しかしながら、その作用機序や最適な摂取量・摂取方法についてはまだ解明されていない部分が多く存在しています。特に、健康食品として摂取する場合、個人的な効果の差が非常に大きく十分な効果が発揮できない場合も多く見受けられます。そのため、生体内での挙動や、作用機序の解明などの基礎的な研究を通して、安定的な効果を発揮する利用方法や、対象の疾患などを明らかにし、(1,3)(1,6)- $\beta$ グルカンの安全性と効果を科学的かつ客観的に評価する方法を検討します。

#### 【研究・開発の特色】

本研究の成果は、健康な生活を追求する人々や医療専門家にとって重要な情報源となります。我々の研究によって、(1,3)(1,6)- $\beta$ グルカンの摂取が免疫機能の向上や炎症の軽減、腸内環境の改善などにどのように貢献するかを明確に示すことが期待されます。

また、新たな利用方法の開発においても、本研究の結果は重要な意義を持ちます。我々は、医薬品やサプリメント、食品添加物としての利用に加えて、栽培方法や加工技術の改善にも注目します。これにより、より効果的かつ効率的な(1,3)(1,6)- $\beta$ グルカンの生産と利用を促進し、食品業界や農業分野の発展に寄与することが期待されます。特に大分は、(1,3)(1,6)- $\beta$ グルカンを豊富に含むシイタケの産地でもあり、地場産業への波及効果も期待出来るのではないかと考えています。

#### 【今後の展開】

本研究の成果は、健康産業や医療現場において、新たな治療法や予防法の開発につながることを期待されます。また、食品業界や農業分野においても、新たな商品開発や生産方法の改善に役立つ情報を提供することができるのではないかと考えています。

#### 【地域・企業へのメッセージ】

私たちの研究は、(1,3)(1,6)- $\beta$ グルカンを含む食品の有効性と利用方法に関する貴重な情報を提供します。これにより、地域の健康産業や医療現場での新たな治療法や予防法の開発に貢献することが期待されます。私たちの研究は、地域の発展と健康増進を目指しています。私たちの研究にご興味をお持ちいただいた地域の関係者の皆様には、ぜひご支援とご協力をいただければ幸いです。